



見物客を知ってか知らずか、産卵場所作りに懸命なサケ。



サケがあげる水しぶきに集まった人たちからは感嘆の声が…。



スキーと水泳が趣味という邦康さん(左)と「ウチのたんぼが一番」とシガ子さん(右)。

土

手のベンチでこれまた味噌汁けたんぼを食べているのは、**畠山邦康さん**(根下戸)と奥さんの**シガ子さん**。「きりたんぼなべは、家で作るのが一番よ」。そのなんですよネ。それぞれの家庭の味がありますから。トリモツを入れる、入れない。キノコはマイタケ、いやネズミキノコ(ギンダケ) などなど。「

昨年、私病気で入院したけど、夫にご飯の支度をしてもらったりしたの」とシガ子さん。それじゃあ、大分包丁さばきなどごまくなったんでは? 「いやあ、とても、とても」と謙遜する邦康さん。2人の子供たちは、それぞれ家庭を持ち、現在は夫婦水入らずの2人暮らし。今が、これまでで一番充実した生活とか。これからもお元気でお幸せに。

サ

ケが上って来ているのを見たよとの情報を得て上流に向かうと、なるほど大館橋から少し上流の浅瀬に、何匹かが泳ぎ回っているじゃありませんか。ホーと感心して見ていると、いつのまにか周りに人の群れが。「アラ、何なの? コイ?」 いやいやサケですよ。「すごいもんだな。捕ってしまえばいいんでないか?」ダメ! ダメです

よ、お父さん。法律に触れますヨ。なんて話していると、サケは、産卵のための場所作りに一生懸命の様子。ウム、すばらしい自然の営み…あれ? ちょっと話が脱線してしまいました。大にぎわいのまつり会場からほんの数m離れたところでサケの遡上が見られるなんて、他には無いかも。海から一生懸命に上ってきたサケを、皆さん優しく見守ってくださいね。

3

人仲良く座っているのは、**佐藤由紀子さん**(釈迦内)と娘の**早希さん**(釈迦内小3年)、由紀子さんのお母さんの**浩子さん**のご家族。「何年かぶり、きりたんぼまつりに来たけど、大勢の人で驚いています。盛大になったんですね」と由紀子さん。そうそう、インタビュを求めても、鹿角市や秋田市からの家族が多かったですもの。早希さんは、お母さんのどんな料理が好き? 「ウーン、おばあちゃんの料理」。アレ? 「お母さんは働いているから、私が作っているんです」と浩子さんがナイスフォロー。「4年になったら、クラブは陸上かミニバスかで迷ってるの」と早希さんがんばってね。

では、次回もあってグッド!
おばあちゃんの料理の中では、きりたんぼ鍋が好き」と早希さん(中)



「おばあちゃんの料理の中では、きりたんぼ鍋が好き」と早希さん(中)

あつてグッド

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

市民の皆さんが
たくさん登場

これまでの
登場者数 236人

83,872人
(H18.10.1現在)

「あつてグッド」は、歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった(グッド)を掛け合わせもじったものです。